

公表施設における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスアロハランド		令和7年 4月 21日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動場所やPC、タブレットをする場所など分かれている。	学習スペースが少し窮屈の場合がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	活動に合わせた人数を配置していると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		わかりやすい構造化とはなっておらず、あいまいな場面がある。再度危険な場所を確認し、安全に過ごせる様努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	活動に合わせて、机の配置やネットの有無を変えている。	清潔を保つよう心がけているが追いついていない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		クールダウンや体調不良者が休む場所を考えていく必要があると思う。落ち着ける環境設定を考えていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日のミーティングやケース会議を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティング時に意見交換を行い、業務改善につなげている。	評価表を通して、業務改善に努めていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		外部評価が行われているかわからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	虐待防止研修を受けた。	研修の機会を増やしていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	契約前に必ずアセスメントを行っている。	保護者のニーズをより把握していき、分析をした上で計画書を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	毎日のミーティングやケース会議、共有ノートを通して検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画をミーティング時に確認している。	職員会で情報共有し、計画に沿った支援を心がけていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	5領域に沿った計画を立て、それに沿った支援を行っている。	定期的に計画書の再確認を行い、職員間で共有していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員で、児童の興味、関心に沿った活動を考え、立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童の興味、関心に沿ったプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動と集団活動を組み合わせている。	個々にあった活動も考え支援していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝のミーティングで、支援の内容や役割分担について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	日誌を元に、気付いた点や、活動の振り返りを行っている。	日誌やミーティングで振り返りを行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ローテーションで日誌を記入し、日々の記録をとっている。	次の日のミーティング時に検証と改善を考えていき、次につなげる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	ミーティング時に検証している。	見直しがある場合、適切な見直しができる様にする。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	外食支援や買い物訓練等を通して、自己選択する力を身につけている。	心がけているが余裕がない時等押し付けてしまっている時がある。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	施設管理者、児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	情報提供書類を作成して連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	連絡ノートや送迎時、電話を通して行っている。	何かある場合は、電話で詳しく話しをする様にこころがける。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	移行支援会議に参加し情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	移行した児童がいないため経験はないが、個別ファイルで支援の経過等を記録に残している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	地域の児童発達支援センターと連携がとれているか把握できていない	研修の機会を増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	公園等では、地域の子供に混ざって遊ぶ事がある。	なかなか児童クラブや児童館との交流は出来ていないので行っていきたい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	参加する様にしている。		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		家族等の参加できる研修の機会を増やしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ノートや送迎時にも話を聞く様になっている。	悩みや困ったことなどを相談された際は、寄り添いサポートできる様に心がける。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	年3回保護者会実施している。	兄弟同士の交流も行っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応できる様にしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月おたよりを発行したり、HPやInstagramで活動の様子を発信している。	今後もおたよりやSNSで発信を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵つき書庫で管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個々に合わせた対応を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域住民の招待など出来ていない。	行事などに地域住民を招待する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		マニュアルの周知を再度行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年4回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	慎重に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		安全管理に必要な研修や訓練を行っていききたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	連携が図れているかわからない。	安全確保に関して周知していく。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ミーティング時に共有している。	再発防止の検討をより強化していく。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を行っている。	研修機会を増やしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約時に保護者からの同意を得ている。計画書に記載している。	